# ともに暮らすとは？
# 共生社会へのヒントを探る
## ～地域の実践と対話のワークショップ～

近年、外国人住民の増加が続く中、「誰一人取り残さない包摂的で暮らしやすい地域社会の実現」や「外国人住民との共生の推進」は、わが国における喫緊の課題となっています。かつてのように、外国人労働者が特定地域に集中する時代を経て、現在では全国各地において、多様な文化的背景を持つ外国出身者が定住するようになっています。こうした状況のもと、地域の特性を活かしながら、就労や生活を目的として来日する外国人の受入れと共生に向けたさまざまな支援の取組が進められています。

本ワークショップでは、熊本県をはじめとする全国の先進的な事例や、県内における取組を共有するとともに、沖縄県の「多文化共生社会の構築に関する提言書」も踏まえながら、地域における共生のあり方についてともに考える機会とします。

2025年 **6/27** 金 **13:30 ~ 16:30**（開場: 13:00）

**会場** なは市民協働プラザ１階なは女性センター
那覇市銘苅2丁目3-1

**定員** 50 名　**申込締切** 6/24 火

申込URL：※メールかFAXをご希望の方は裏面へ
https://forms.gle/RjEqCjUZ9qSUr8Mc6

**参加無料**

**プログラム**

**13:30** 開会

**14:00** 『外国人住民との共生支援ハンドブック～受入れの基本姿勢とモデル事例集～』（仮称）の紹介
**岩品 雅子**（笹川平和財団　研究員）

**14:15** 「支援の組立て・調整・連携」の解説
**石川 美絵子**（社会福祉法人 日本国際社会事業団　常務理事）

**14:30** コーヒーブレイク

**14:45** 先進事例を通して沖縄を考える：ハンドブックの事例を読み解きながら、沖縄の実践についてディスカッション
**ファシリテーター：大仲 るみ子**（多文化ネットワークFUふ！　代表）※各グループに下記ファシリテーターがつきます
① **日本語教育**　：**新居 みどり**（特定非営利活動法人 国際活動市民中心）
② **教育**　：**岩品 雅子**（笹川平和財団　研究員）
③ **就労**　：**島巻 弘充**（KUMAMOTO KURASU　GMT協同組合 事業統括）
④ **福祉と年金**　：**石川 美絵子**（社会福祉法人 日本国際社会事業団　常務理事）

**16:20** 未来に向けた参考事例：熊本県の産官学市民社会のプラットフォーム KUMAMOTO KURASUの事例紹介
**原　麻梨子**（熊本県 知事公室国際課 参事）

**16:30** 閉会

主催　公益公益財団法人 笹川平和財団
共催　多文化ネットワークfuふ！
協力　NPO法人沖縄NGOセンター
後援　沖縄県、JICA沖縄、那覇市、浦添市、宜野湾市、公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

### 明石 純一

筑波大学人文社会系教授、社会学類長、日本学域長。博士（国際政治経済学）。教育未来創成会議有識者構成員、第三国定住による難民の受入れ事業の対象拡大等に係る検討会委員、収容・送還に関する専門部会委員、ウクライナ避難民支援に係る有識者会議座長などを歴任。現在、難民審査参与員、出入国管理政策懇談会座長代理、技能実習機構評議員、アジア福祉教育財団理事など。
著書に『入国管理政策：「1990年体制」の成立と展開』（ナカニシヤ出版、2010）年)、『人の国際移動は管理されうるのか』（ミネルヴァ書房、2020年）他。

### 石川 美絵子

日本国際社会事業団（International Social Service Japan - ISSJ）常務理事、社会福祉士。アムネスティ・インターナショナル日本、NPOなんみんフォーラムを経てISSJ入職。難民移民のソーシャルワーク、コミュニティ支援の実践に携わる他、無国籍児支援、養子縁組などの事業も統括している。法務省難民認定制度に関する専門部会委員、内閣官房第三国定住による難民の受入れ事業の対象拡大等に係る検討会構成員、文京区地域福祉活動計画策定委員会委員などを歴任。難民女性への日本語教育などから令和5年度文化庁長官表彰を受ける。笹川平和財団発行『難民の地域定住支援ガイドブック』監修。

### 新居 みどり

NPO法人国際活動市民中心（CINGA）コーディネーター。
東京外国語大学多言語多文化教育研究センター、IOMコンサルタントを経て、CINGA入職。
仕事の傍ら、民生児童委員や高齢者見守り活動など地域の市民活動の担い手として戦略的に奮闘中。

### 岩品 雅子

公益財団法人笹川平和財団 研究員。
シャンティ国際ボランティア会、JICAプロジェクトチーフアドバイザー（ラオスの初等教育およびベトナムでの人身取引対策ホットライン）を経て、笹川平和財団入職。

---

Googleフォーム以外でお申込みを希望される方は、以下の内容をご記入の上、メールかFAXにてお申込みください。※本用紙をご使用いただけます

**お申込み先**

E-mail：tabunkanet.oki@gmail.com（多文化ネットワークfuふ！）

ＦＡＸ ： 098 - 892 - 9908（NPO法人　沖縄NGOセンター）

## 参 加 申 込 書　「＊」は必須の質問です。

**お名前（フルネーム）＊** _____

**メールアドレス＊** _____

**ご所属先 (団体・会社・学校等)** _____

今回のワークショップでは、4つのテーマでグループに分かれ、先進事例を紹介します。希望するテーマを教えてください。＊　※☑複数選択可

- ☐①日本語教育
- ☐②教育
- ☐③就労
- ☐④福祉と年金
- ☐⑤検討中

**Q1：「多文化共生」の取り組みについて、関心があること、考えたいこと何ですか。　※☑複数選択可**

- ☐外国人相談対応体制の構築と拡充
- ☐やさしい日本語や多言語情報による情報発信の強化
- ☐日本語教育等の環境の整備
- ☐ライフステージ・ライフサイクルに応じた行政サービス等の体制強化
- ☐地域住民と外国人の共生
- ☐外国人の病気や障害、災害への備え
- ☐外国人が働きやすい社会づくり
- ☐外国人に対する差別の解消
- ☐県全体での連携協働体制の構築と拡充
- ☐多文化共生推進のためのアクションプランの策定
- ☐まだわからない
- ☐その他

**Q2：Q1の回答の理由について、教えてください。(可能な範囲で)**

**Q3：ワークショップで聞きたいこと、話したいこと、期待すること等がありましたら、教えてください。**